



グリーンスローモビリティ 「ぐるっぴー」の取り組み



2022.7/11

宮崎市都市戦略課公民連携推進室

宮崎市のグリーンスローモビリティ



車両種	eCOM-8 ²
運行台数	2台
全長	4.93m
全幅	2.0m
全高	2.43m
最高速度	19km/h
乗客定員	9人

～「ぐるっぴー」愛称の由来～

まちなかをぐるぐる回ることから「ぐる」、かわいらしく親しみやすくするために「ぴー」をつけ、子どもからお年寄りまで呼びやすい愛称として命名されました。市内の小学生、1,588件の応募の中から選ばれました。



「ぐるっぴー」運行概要



- 運行エリア 中心市街地（JR宮崎駅～橘通3丁目周辺（約2.1km））
- 運賃 100円/便（小学生以下は無料、障がい者は50円/便）
〈一般乗合旅客自動車運送事業として運行〉
- 原則として毎日運行
（運行時間 10：30～17：30（12分間隔で運行） 34便/日）
- 運行休止事由
悪天候時、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言等の発出時、
イベントによる車両通行止め、年始（1/1）



「ぐるっぴー」運行概要



- 交通系 I Cカード、スマホでのデジタルチケット(myrouteアプリ) も使えます。車椅子も対応できます。



「ぐるっぴー」運行概要（こびとづかん×ぐるっぴー動画）





宮崎市の基礎データ (令和2年10月 国勢調査)

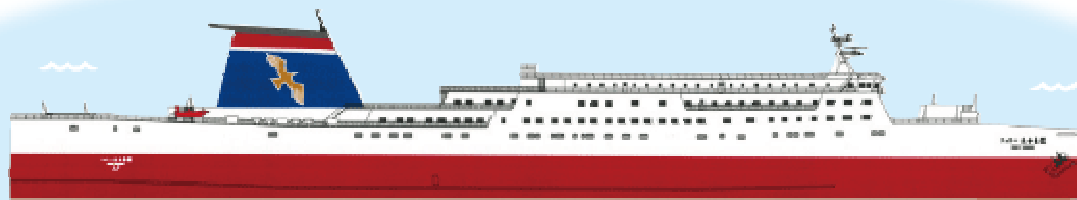
- 人口 401,591人
(前回 H27比較・・・+453人)
- 世帯数 184,023世帯
- 面積 643.67km²



宮崎市の概要（交通アクセス）



- R4（2022年）4月15日、神戸ー宮崎に新船「フェリーたかちほ」就航！！



「ぐるっぴー」導入の経緯



- 宮崎駅周辺での開発を機に、**回遊性向上を図り、中心市街地の活性化**を図る手段として導入

(平成17年(2005年) 5月)

: 宮崎駅から北に車で約10分の郊外に九州最大級の大型商業施設がオープン



⇒ **以後、中心市街地の活性化が市の重点施策に**

- ・平成19年(2006年)5月：中心市街地活性化基本計画（内閣総理大臣認定）

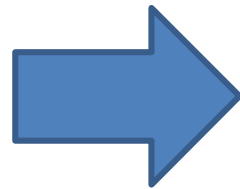
「ぐるっぴー」導入の経緯



- (令和2年(2020年) 10月) 宮崎県による宮崎駅西口駅前広場の再整備
- (令和2年(2020年) 11月) JR九州、宮崎交通による“アミュプラザ宮崎”開業



リニューアル



「にぎわいをつなげる」
「ひとの流れ」を誘導する

>>> 「手段」として、
グリーンスローモビリティの導入

「ぐるっぴー」導入の検討



● 実証調査に向けた検討

- ▶ 令和1年(2019年)10/1 … 第1回GSMを活用した回遊性向上施策検討委員会
(宮大・商工会議所・商店街・大型店舗・自治会・バス
タクシー交通事業者・県・県警・市など21団体で構成)
- ▶ 令和1年(2019年)10/17 … 第2回GSMを活用した回遊性向上施策検討委員会
- ▶ 令和1年(2019年)11/6 … 第3回GSMを活用した回遊性向上施策検討委員会

主な検討項目

- ①運行形態 (運行時間・運行ルート・実施形態・停留所)
- ②調査・検証項目 (渋滞・運賃)
- ③広報体制 (利用PR、渋滞対策)

● 実証調査の実施

- ▶ 令和1年(2019年)11/29(金)～12/25(水) (17日間)
- ▶ 10時～18時 / 8時間運行 e-COM-8² ×2台 (運賃無料)
- ▶ 利用者総数5,901人 (347.1人/日, 7.3人/便)

「ぐるっぴー」導入の検討



- 検討委員会でのおもな意見
「実証調査前はイメージもわからず渋滞発生が懸念材料に。」
- ▶ 県関係課（商工・道路管理者）
「渋滞や、歩行者、自転車、自動車の安全確保に十分配慮すること」
- ▶ 県警
「渋滞や、歩行者、自転車、自動車の安全確保に十分配慮すること」
- ▶ 市庁内関係課
「渋滞や、歩行者、自転車、自動車の安全確保に十分配慮すること」
- ▶ 交通事業者（バス事業者）
「路線の減収等も想定されるので、実証結果を踏まえて交通事業者として連携できる方法を検討したい」
- ▶ 商工会議所・商店街
「回遊性向上施策としてぜひ実現して欲しい。早めの実証調査が必要と考える。
協力できる部分は積極的に協力する」

「ぐるっぴー」導入の検討



- **運行前（実証調査）イメージがわかなく、渋滞発生が懸念材料に。**
運行ルートは基本左折。
- ▶ 公用車で休日、平日、各々10時台、13時台、15時台、17時台を20km/hで走行。渋滞発生状況を協議会メンバーで共有すべく車両前後の動画を撮影し、検討会で公開。
- ▶ 県内の最大の中心市街地でのグリソ口運行に県警等との協議に苦慮したが、商店街の後押しもあり本格運行を実現。現在まで渋滞等安全面を含めたクレームはない。

〈実証調査運行ルート〉



「ぐるっぴー」運行開始後の状況



「ぐるっぴー」運行開始後の状況



● 事業実施体制

宮崎市まちなかグリス口運行協議会【運行主体】

- ① 宮崎市商店街振興組合連合会（会長）
- ② 宮崎商工会議所
- ③ 公益社団法人 宮崎市観光協会
- ④ 中央東地域自治区地域協議会
- ⑤ 株式会社 J R 宮崎シティ
- ⑥ 九州旅客鉄道株式会社宮崎総合鉄道事業部
- ⑦ 宮崎交通株式会社
- ⑧ 一般社団法人宮崎県タクシー協会宮崎支部
- ⑨ 宮崎市商業政策課（事務局）

運行委託

運行事業者
宮崎交通株式会社
・運行管理
・運賃徴収

宮崎市

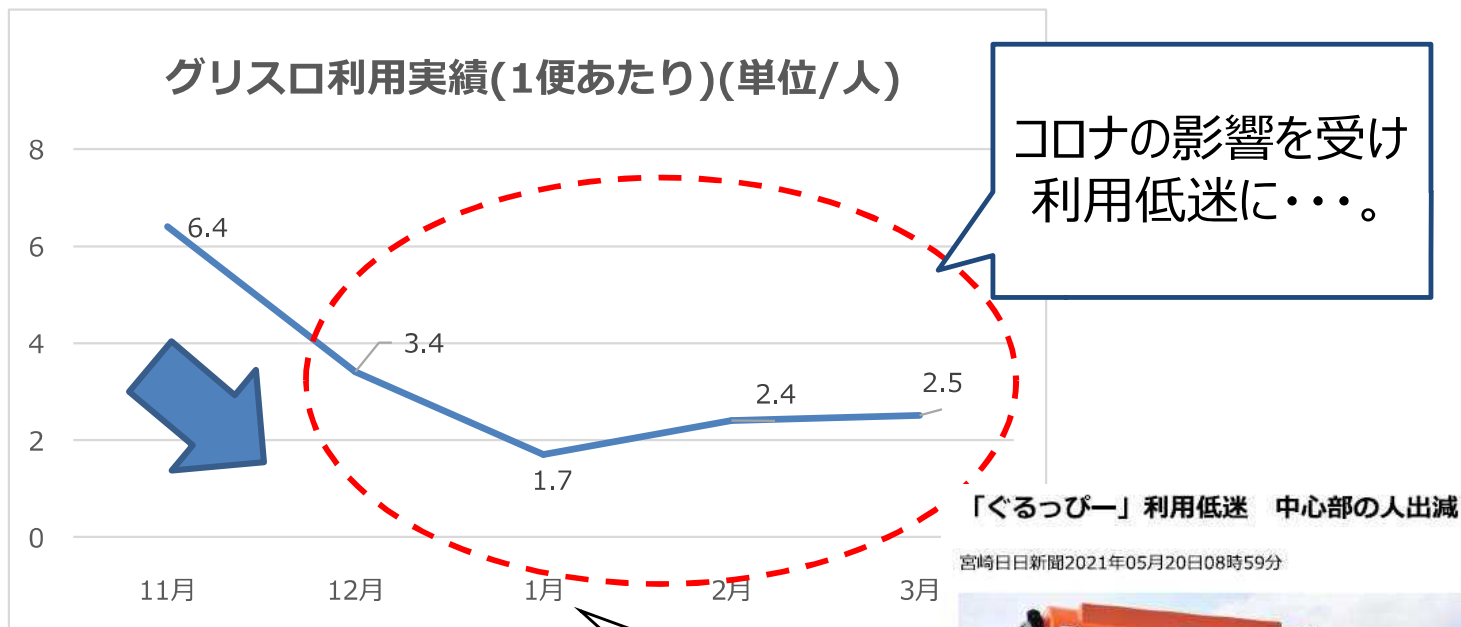
運行委託費を補助（2/3）

※コロナによる利用低迷を受け、
運営基盤の安定化を図るべく
事務局を市商店街振興組合
連合会から市担当課へ移行
(R3.5/31付)

「ぐるっぴー」運行開始後の状況



- 運行開始後からコロナの影響を受ける。



R3(2021).5/20地元新聞



宮崎市が市中心部で運行する低速の電動バス「ぐるっぴー」=写真=の4月末までの利用者数は延べ1万5239人と、目標の半数にとどまったことが19日、市への取材で分かった。市は新型コロナウイルスの感染拡大で人出が減少したことが影響したと分析している。